

第1章

県土づくりの3つの分野

第1節 安心な暮らしを守る強靱な県土づくり

- 1 治水対策の推進
- 2 土砂災害対策の推進
- 3 地震・津波、高潮対策の推進
- 4 交通安全対策の推進
- 5 社会資本の老朽化対策と適切な維持管理
- 6 危機管理体制の充実

第2節 活力と潤いのある魅力的な地域づくり

- 1 快適な都市空間の形成
- 2 潤いのある水環境の創出
- 3 快適な住まいづくりの推進
- 4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

- 1 広域道路ネットワークの構築
- 2 地域道路ネットワークの充実
- 3 海上輸送拠点の強化

1 治水対策の推進

治水ダムの整備

- ・これまで3度(昭和57年、平成2年、平成24年)の大水害を受けた竹田市街地を浸水被害から守るため、玉来ダムの早期完成を目指し、本年度は本体工事に着工します。
- ・大分川ダムについても早期完成に向けて取り組みを継続します。

項目\年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
仮設工	転流トンネル	上流仮備切堀	工事用道路				2次転流トンネル閉鎖	
本体工			準備工	基礎掘削	本体コンクリート		唐工機(天端機 専機機 脚機)	試験湛水
貯水池止水対策					貯水池カーテングラウディング			
管理用道路					管理用道路			



河川改修

- ・浸水実績を踏まえ、20河川23箇所ですて護岸・堤防や川の流れを阻害している河川内の横断工作物の改築を行います。



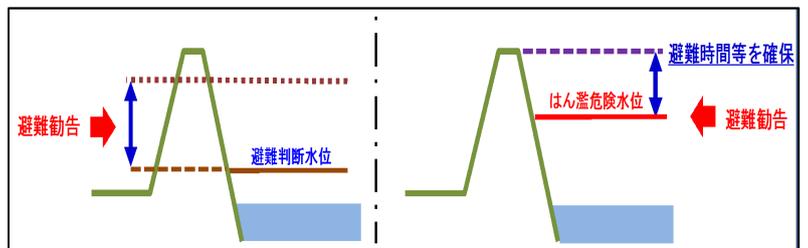
河川改修により過去に浸水被害が発生した18地区の対策完了予定

河床掘削

- ・背後地の土地利用や浸水実績等を踏まえ、24箇所ですて断面を阻害している土砂を撤去します。



【避難勧告発令の目安となる基準水位見直しのイメージ】



適切な避難行動への支援

- ・洪水時の確実な避難行動を支援するため、17河川において、避難勧告発令の目安となる基準水位の見直しを行いました。併せて、各市町村に対するトップセミナー、共同点検、水害対応チェックリストの作成を行いました。



2 土砂災害対策の推進

警戒避難体制の整備

平成 26 年の広島県で発生した土砂災害を受け、本県でも土砂災害警戒区域の指定を加速するため、指定に向けた基礎調査の予算・人員を大幅に増強し、平成 31 年度までの完了を目指しています。今年度は上半期までに約 2,700 箇所において調査に着手しています。

また、警戒避難体制の整備を促進するため、市町村のハザードマップ作成を支援するソフトを開発しました

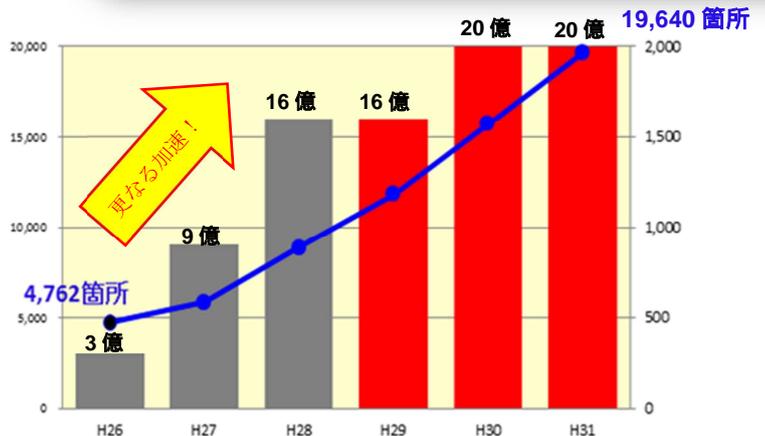


土砂災害ハザードマップ作成の支援

基礎調査箇所の大幅増！
548 箇所(H26) 2,700 箇所を調査中



基礎調査の状況（宇佐市）



土砂災害警戒区域等の指定状況及び今後の方針

砂防施設の整備

病院・社会福祉施設等の要配慮者利用施設や地域防災拠点等を優先的に整備し、今年度は上半期までに玖珠町の中野川の砂防ダムなど 5 箇所が完成する見込みです。



【急傾斜地崩壊対策事業】
：下黒土地区（豊後高田市）】



【砂防事業：中野川(玖珠町)】

3 地震・津波、高潮対策の推進

地震・津波・高潮対策の推進

地震・津波・高潮対策は、近年発生が懸念されている南海トラフ地震に加え、今年度発生した熊本地震を受け、円滑な救急・救援活動や緊急物資の輸送、復旧活動の支援等において、重要な役割を果たす緊急輸送道路上の対策をはじめ、多岐にわたり、その取組を着実に進めることが重要です。

土木建築部の主な取組

施設	対策
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区別道路啓開実施計画の策定 ・ 啓開ルート上ののり面崩壊対策 ・ 緊急輸送道路における橋梁耐震化 ・ 緊急輸送道路における無電柱化
河川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸施設の耐震性能調査及び耐震対策設計
砂防	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の砂防施設の老朽化対策
港湾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震強化岸壁の整備 ・ 護岸・堤防の高上げや液状化対策等の耐震補強
都市公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域防災拠点としての機能強化に向けた大分スポーツ公園の整備
下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道処理施設や管路の耐震化に向けた市町村の取組強化
住宅・宅地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震診断・改修に対する支援 ・ 県営住宅のガス管耐震化 ・ 大規模盛土造成地の変動予測調査
特定建築物	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル・旅館等の特定建築物の耐震改修に対する支援
県有建築物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁舎受電設備の高架化 ・ 県有施設の吊り天井の耐震化

【取組紹介】

橋梁耐震化の取組

県内に架かる長大橋と道路改良事業等により架け替えを行う橋梁以外についての耐震化はほぼ完了しており、平成27年度までに170橋の耐震化が完了しています。

対策未完了の22橋については、今年度設計、耐震化工事、道路改良による架け替え等を行い、事業の進捗を図ります。

平成28年度は2橋の橋梁耐震化が完了する見込みとなっており、完了率は89.6%となる予定です。



耐震補強の事例（大在大分港線 家島橋）

4 交通安全対策の推進

歩道等の整備

子どもが安心して通学できる環境を整備するため、法指定通学路の歩道等を整備します。

道路の利用状況に応じ、歩行者と自転車の分離を図ります。

学校や警察と

連携した合同点検

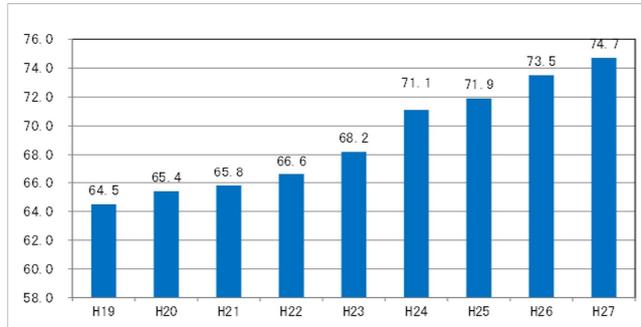
学校関係者や警察と連携し、点検を行って路肩のカラー化など道路利用状況に応じた効果的な交通安全対策を推進します。

平成28年度も各市町村において通学路合同点検を実施し、対策が必要な箇所を抽出し、交通安全対策を推進します。

事故危険箇所等の対策

交通事故発生割合が高い箇所等を事故危険箇所に指定し、集中的な事故防止対策を推進します。

平成28年度については、事故危険箇所未対策箇所3箇所のうち、2箇所について対策完了予定です。



県管理道における法指定通学路の歩道等整備率
H28.3 74.7%



一般県道新城山香線 歩道整備



一般県道大分港線 自歩道内分離



通学路合同点検実施状況（中津市）



路肩のカラー化による対策

国道388号 佐伯市



減速路面標示による対策

別府庄内線（別府市）



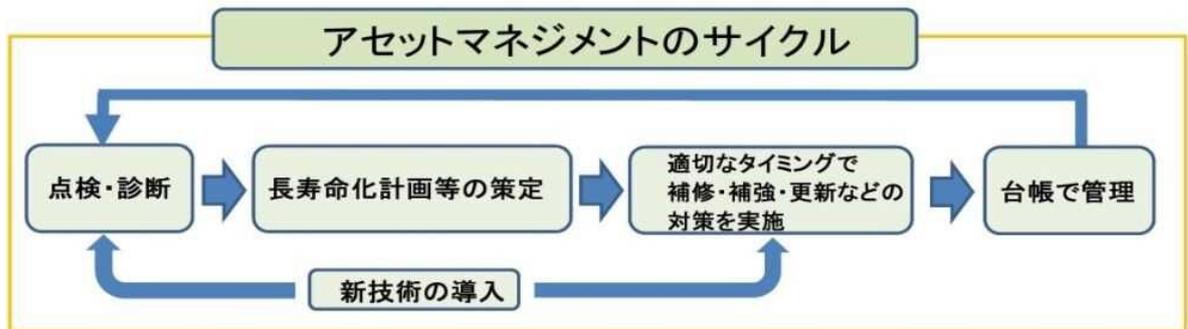
減速路面標示による対策

国道210号（大分市）

5 社会資本の老朽化対策と適切な維持管理

老朽化対策（アセットマネジメント）

- 施設の点検・診断を着実に進めながら、各施設の長寿命化計画を策定し、適切なタイミングで補修・補強・更新を実施する「アセットマネジメント」の取組により、持続可能で効率的な維持管理を推進しています。
- 点検については、平成26年度までに主要16施設の1巡目点検が完了し、長寿命化計画については、橋梁やトンネルなど13施設を平成27年度までに作成しました。平成28年度は、残り3施設の長寿命化計画策定を完了させ、アセットマネジメントの取り組みを引き続き進めていきます。



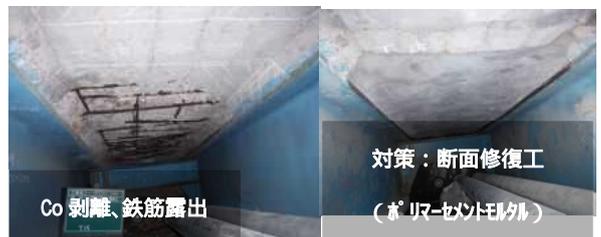
【橋梁の点検状況】

国道326号（豊後大野市）



【トンネル点検状況】

県道白丹竹田線（竹田市）



【橋梁の補修状況】

県道三重新殿線（豊後大野市）

適切・効率的な維持管理

- 道路、河川、港湾、砂防等の日常の維持管理を適切に行い、安全・安心で快適な暮らしを支えます。
- 道路パトロールや河川巡視などを着実にを行い、異常箇所の早期発見に努めています。
- 出水期前までに河川堤防や土砂災害の恐れのある箇所の目視点検を行っています。また、夏季の河川施設利用者が増える前に市町村など施設管理者と共同で河川プール、河川公園、親水護岸、遊歩道等の安全点検なども実施しています。



異常箇所の早期発見・補修



道路の草刈り

実施前 実施後
中央分離帯の防草対策

6 危機管理体制の充実

平常時の取組の充実・強化

- ・災害時の緊急輸送体制の早期確保のために、平成27年6月に策定した「大分県道路啓開計画」に基づき、平成28年度末までに各地区の「地区別実施計画」を策定しています。
- ・熊本地震では大分港、別府港において支援物資が到着しました。発災時にその機能を維持又は早期復旧するための事業継続計画（港湾BCP）の充実を図ります。



国土交通省中部地整「清龍丸」



国土交通省近畿地整「はやたま」

災害発生時の体制の充実・強化

平成28年熊本地震による経験を踏まえ、従来からの施設の緊急点検や応急対応などの対応に加えて、災害発生後の初動の情報収集方法の充実を進めています。また、今回の災害対応の経験を踏まえて、「危機管理マニュアル」等の見直しを進めています。

- (1) 上空からのヘリコプターによる被害状況の把握
- (2) 航空写真撮影による被害状況の把握
- (3) ドローンによる被害状況の把握



ヘリコプターによる被害状況の把握



被災状況の上空写真



ドローンの導入（7月）

情報提供の充実・強化

分かりやすい災害関連情報の積極的な提供を進めるためにホームページでの発信など県民への啓発活動などを進めています。

雨量・水位観測情報	http://www.pref.oita.jp/soshiki/17200/uryou.html
土砂災害危険度情報	http://sabo.pref.oita.jp/dosya/index.html
道路規制情報提供サービス	http://dourokisei.pref.oita.jp/